



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年1月31日

上場会社名 TDSE株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7046 URL http://www.tdse.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東垣 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員専務 (氏名) 浦川 健 (TEL) 03-6383-3261
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績 (2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,216	28.9	144	—	145	569.8	98	△38.3
2021年3月期第3四半期	944	△4.1	4	△89.7	21	△47.9	159	520.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年3月期第3四半期	47.81		—					
2021年3月期第3四半期	77.68		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,894	1,654	87.3
2021年3月期	1,804	1,590	88.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,654百万円 2021年3月期 1,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年3月期期末配当金の内訳 特別配当 10円00銭

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	28.4	192	279.1	192	180.9	133	△30.2	64.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2022年1月31日)に公表いたしました「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	2,200,000株	2021年3月期	2,200,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	143,026株	2021年3月期	150,026株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	2,054,148株	2021年3月期3Q	2,049,982株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における国内経済は、ワクチン接種の進展の効果もあり、オミクロン株による感染再拡大は懸念されますが、回復基調にあると見込んでおります。一方で、デジタル活用という視点においては、市場や顧客の期待は高く、情報サービス産業においては、この経済の回復傾向により、DX その中でも先進的なAIやIT技術を活用した中長期的な市場拡大は期待されると見込んでおります。

このような状況のなか当社は、継続してデータ解析技術およびDX/AIコンサルティングを基に、デジタルマーケティングを活用した新規顧客開拓を図るとともに、既存顧客の深耕による受注拡大に努めてまいりました。また、Cognigyを活用したコロナワクチン接種予約ポットや、インフルエンサー分析サービス「SNS-LINK」および、既存文書からのQA自動作成サービス「QAジェネレーター」の提供を開始し、サブスクリプションサービス充実にむけた取組を推進しております。

以上のとおり取組んできました結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は、特にフロー型ビジネスでは案件の大規模化が進み、またストック型ビジネスではNetbaseの新規顧客獲得が進んだことで、前回予想公表時点での想定よりも堅調に推移し、1,216,990千円（前年同期比28.9%増）となり、利益面では、事業強化を目的とした技術社員の増強や非対面での営業推進やデジタル技術等を用いたマーケティングの強化を行いながらも、営業利益は前年同期比増益の144,532千円（前年同期比3,388.0%増）、経常利益は前年同期比増益の145,262千円（前年同期比569.8%増）、四半期純利益は98,207千円（前年同期は159,243千円の四半期純利益[注1]）となりました。

注1：前第3四半期累計期間においては、特別利益として投資有価証券売却益207,375千円が計上されています。

なお各四半期では、以下のとおりとなっております。

(千円)

	当第1四半期会計期間		当第2四半期会計期間		当第3四半期会計期間		当第3四半期累計期間	
		前年同期 実績		前年同期 実績		前年同期 実績		前年同期 実績
売上高	316,599	286,874	418,250	315,294	482,140	342,230	1,216,990	944,400
営業利益	-11,916	-31,316	72,109	1,868	84,339	33,592	144,532	4,143
経常利益	-11,510	-14,545	72,155	1,931	84,617	34,303	145,262	21,688
四半期純利益	-8,833	136,113	49,287	211	57,753	22,918	98,207	159,243

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ90,525千円増加し、1,894,613千円となりました。

(流動資産)

流動資産の残高は、前事業年度末と比べ71,138千円増加し、1,745,945千円となりました。これは主に現金及び預金が27,582千円、売掛金及び契約債権が52,582千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は、前事業年度末と比べ19,387千円増加し、148,668千円となりました。これは主に繰延税金資産が13,206千円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べ26,317千円増加し、239,940千円となりました。

(流動負債)

流動負債の残高は、前事業年度末と比べ26,317千円増加し、219,940千円となりました。これは主に未払費用が

19,350千円、賞与引当金が48,509千円それぞれ増加し、未払法人税等が53,080千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

固定負債の残高は、前事業年度末から変動はなく、20,000千円となりました。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比べ64,207千円増加し、1,654,673千円となりました。これは主に四半期純利益の計上、配当金の支払い等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

コロナ禍については、オミクロン株による第6波が懸念されてはおりますが、各企業のデジタルやAIの活用に対する投資意欲は強く、AI・ビッグデータ市場は大きく成長することが予測されます。

今後も引き続き、「大規模×長期化(LTV最大化)」につながる顧客との接点を増やし、フロー型ビジネスでは、顧客との中長期にわたる関係強化を目指したDX/AIアセスメント等のビジネス領域におけるコンサルティングの強化およびAIシステム実装のコンサルティングの強化を継続的に実施してまいります。また、ストック型サービスでは、継続的に提供している既存製品のサービス拡張および新サービスの提供に向け準備してまいります。加えてデジタルマーケティングおよびパートナーネットワーク強化にも努める方針です。

以上により、2022年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は1,700百万円（前年同期比28.4%増）営業利益は192百万円（前年同期比279.1%増）、経常利益は192百万円（前年同期比180.9%増）、当期純利益は133百万円（前年同期比30.2%減）となる見込みです。

※ 業績予想の修正の詳細については、本日（2022年1月31日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記業績予想は、当社が現在入手できる範囲で得られた情報をもとに作成した暫定的な業績予想であり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,443,262	1,470,844
売掛金及び契約資産	172,840	225,422
仕掛品	—	1,954
貯蔵品	383	138
前渡金	32,258	23,042
前払費用	25,766	24,341
その他	296	200
流動資産合計	1,674,807	1,745,945
固定資産		
有形固定資産		
建物	35,300	35,300
減価償却累計額	△13,881	△17,667
建物(純額)	21,418	17,632
工具、器具及び備品	1,516	1,516
減価償却累計額	△1,301	△1,462
工具、器具及び備品(純額)	214	53
有形固定資産合計	21,632	17,686
無形固定資産		
ソフトウェア	1,866	18,267
ソフトウェア仮勘定	10,421	—
無形固定資産合計	12,288	18,267
投資その他の資産		
長期前払費用	2,407	3,104
繰延税金資産	15,119	28,325
敷金及び保証金	71,753	74,220
その他	6,079	7,062
投資その他の資産合計	95,359	112,714
固定資産合計	129,281	148,668
資産合計	1,804,088	1,894,613

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,130	18,215
未払金	19,411	17,023
未払費用	12,503	31,854
未払法人税等	75,772	22,692
未払消費税等	23,541	37,419
前受金	49,775	33,965
預り金	3,487	10,259
賞与引当金	—	48,509
流動負債合計	193,622	219,940
固定負債		
資産除去債務	20,000	20,000
固定負債合計	20,000	20,000
負債合計	213,622	239,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,180	833,180
資本剰余金	279,680	284,226
利益剰余金	530,189	587,397
自己株式	△52,583	△50,130
株主資本合計	1,590,465	1,654,673
純資産合計	1,590,465	1,654,673
負債純資産合計	1,804,088	1,894,613

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	944,400	1,216,990
売上原価	631,794	717,907
売上総利益	312,606	499,082
販売費及び一般管理費	308,462	354,550
営業利益	4,143	144,532
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	16,620	—
為替差益	17	15
確定拠出年金返還金	961	597
その他	206	109
営業外収益合計	17,810	730
営業外費用		
支払利息	265	—
営業外費用合計	265	—
経常利益	21,688	145,262
特別利益		
投資有価証券売却益	207,375	—
保険解約返戻金	1,647	—
特別利益合計	209,022	—
特別損失		
固定資産除却損	417	—
特別損失合計	417	—
税引前四半期純利益	230,293	145,262
法人税、住民税及び事業税	68,317	60,260
法人税等調整額	2,733	△13,206
法人税等合計	71,050	47,054
四半期純利益	159,243	98,207

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる影響額は軽微です。収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

(セグメント情報等)

当社は、ビッグデータ・AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。